

私たちの時代の「徳」のあり方について考える
第23回応用倫理・応用哲学研究会

「徳」を議論する際、ほとんどつねに具体的な徳目が言及されている。現代的な議論が多い徳認識論では、時代に呼応した認識的な徳目が比較的自由に挙げられるが、徳倫理学の場合は、アリストテレスであれキリスト教であれ、「伝統」的な徳目を想定しながら議論されることが多い。この報告では、一方で現代社会のあり方や科学技術の進展を注視し、他方では西洋的な（あるいは大陸儒教的な）文脈から意識的に離れ（ようとす）ることで、私たちの時代のための「徳」のあり方について提案をおこないつつ、この問題について考えてみたい。

講演者 **立花幸司** 氏（千葉大学）
アリストテレスおよび現代の徳倫理学、応用倫理学

2022年

6月27日（月）
18:15-19:45

W202 室
北海道大学
人文・社会科学総合教育研究棟

無料・参加申込不要・定員40名

問い合わせ先

北海道大学大学院文学研究院
応用倫理・応用哲学研究教育センター 事務局

〒060-0810

札幌市北区北10条西7丁目

Tel: 011-706-4088

Email: caep@let.hokudai.ac.jp

HP: <http://caep-hu.sakura.ne.jp>

Twitter: @caep_hu